

# 編集 後記

●編集委員 (50 音順)

石丸哲也 上原 圭 太田啓明 柴崎 晋 竹内裕也 辻仲眞康  
仲田興平 成田伸太郎 能城浩和 長谷川傑 伴 大輔 藤森 賢

2021 年 7 月より本誌編集委員を拝命いたしました。埼玉県立小児医療センター外科の石丸哲也と申します。本誌は外科、泌尿器科、婦人科、呼吸器外科など内視鏡手術を行う多様な領域からの投稿を受け付けていることから、当然その査読作業も各領域の著名な先生方とともに行わせていただいております。このような貴重な機会をいただき大変光栄に感じると同時に、小児外科から本委員会への参加は初と伺っており、身の引き締まる思いです。

本号には 6 編の症例報告が掲載されました。いずれも外科からの投稿です。私が外科研修をしていた約 20 年前は腹腔鏡手術が適応を拡大しながら普及していく時代でした。当時は鼠径ヘルニアと言えばメッシュプラグでしたが、鼠径ヘルニアにも腹腔鏡が導入され、さまざまな術式があることなど、他分野から学び、自分の専門領域に取り入れられそうな知識を得ることもでき、とても勉強になっています。

本誌の特徴の一つは、術中所見をカラー写真や綺麗なシェーマでお届けできることではないかと思っています。百聞は一見に如かずではありませんが、貴重な症例のキーポイントを共有するのに欠かせない情報です。近年の潮流としてビデオクリップを参照できるような雑誌も出てきております。益々充実した内容とするために、本誌においてもその方向で検討を重ねているところであり、先生方にご案内できるようになる日を心待ちにしています。

編集後記を執筆している現在 (8 月)、新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりを続けており、その数が世界一であるとの報道すら目にしました。医療現場が混乱を極めている状況下で皆様にかかる負担が増しているのではないかと危惧しております。そのようななかでお願いするのも恐縮ですが、近年、本誌への投稿数が減りつつあると聞きました。学会員の皆様におかれましては、本誌への積極的な投稿をぜひよろしくお願いいたします。特に私の専門領域である小児外科だけでなく、泌尿器科、婦人科、呼吸器外科など、本号に掲載のなかった領域からの投稿を心よりお待ちしております。

(石丸哲也)

## 日本内視鏡外科学会雑誌

(第 27 巻 第 5 号) 2022 年 9 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1 部) 価格: 3,080 円 (本体 2,800 円 + 税 10%)

2022 年 年間購読料: 18,018 円 (税込) \* 学会員は学会ホームページから閲覧できます。

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 坂井義治)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses @ convention.co.jp (担当: 吉富, 平澤, 渡部)

<http://www.jses.or.jp>

発 売: (株)医学書院 (代表: 金原 俊) (本誌担当: 高島, 安部)

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses @ igaku-shoin.co.jp)

販売・PR 部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

電子出版コード 270F2700027005000000

- ・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は日本内視鏡外科学会が保有します。
- ・本誌を無断で複製する行為は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・JCOPY (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, [info@jcopy.or.jp](mailto:info@jcopy.or.jp)) の許諾を得てください。

●原著

当院における腹腔鏡下胆管切開結石摘出術の治療成績

.....木村 雅美・他 済生会小樽病院外科・消化器外科

●症例

腹腔鏡下に切除した成人後腹膜重複腸管の 1 例.....佐藤 啓太・他 伊勢赤十字病院外科  
胸管の走行異常を伴う食道癌に対し腹臥位胸腔鏡下食道切除術を行った 1 例

.....小野寺 優・他 岩手県立大船渡病院外科

腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術後に腹膜縫合部離開による小腸嵌頓をきたした 2 例

.....山田 沙季・他 横浜旭中央総合病院外科  
その他

誌面の都合により変更がある場合があります。あらかじめご諒承ください。